

# 広島県中小企業団体中央会 2022年7月分情報連絡員一覧票

## (食料品)

### ●食料品

#### 中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比10.1%減少、前年同月比1.1%増加となり、売上高は前月比14.8%減少、前年同月比1.4%減少となった。

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。新型コロナウイルス第7波により、売上減少が想定される。

## (繊維工業)

### ●繊維工業

#### 一般財団法人広島県織物工業会

- ・7月は、生産が少ないが在庫は増加している。コストアップは、原材料の価格アップにより、当面続くのではと考える。
- ・コロナの影響が続くようであれば、コストアップとの両面で厳しい状況が予想される。エネルギーコストが今後どうなるか心配である。

### ●山陽テクノ協同組合

国内の仕事が増えている中、人手不足と人材が変わらず深刻。先月に比べて大きい変化はないが、今後、為替の変動で影響が生じる可能性がある。

## (木材・木製品)

### ●木材・木製品

#### 広島県木材協同組合連合会

##### 【全国】

- ・令和4年6月の全国新設住宅着工戸数は74,596戸で前年同月比▲2.2%、季節調整済年率換算値では845,000戸(前月比+2.1%)となった。
- ・利用関係別では、持家は23,184戸で前年同月比▲11.3%、貸家は30,285戸で+1.6%、分譲住宅は20,692戸で+4.1%また木造住宅は42,380戸で対前年同月比▲7.4%であった。
- ・住宅着工動向は全体では前年同月比は15カ月続いた増加の後の2カ月連続の減少となった。特に持家は7カ月連続で対前年同月比減の低水準が継続している。また、木造住宅は木材価格が高値水準にあるためか、昨秋以降対前年同月比はプラス～横這いだったものが4月以降減少に転じており、今後の動向を注視していく必要がある。

##### 【広島県】

- ・県内の今年6月の着工戸数は1,503戸で、対前年同月比+10.9%、うち持家は404戸で▲8.8%、貸家は594戸で+11.4%、分譲は501戸で+33.6%であり、県全体の住宅着工動向前年同月比は11カ月連続で増加した後、3月に減少したものの3カ月連続の増加に戻った。
- ・地域別では呉市、東広島市、福山市など9市が増加したものの、ここの所プラス基調で推移していた広島市が減少に転じている。ウッドショックによる木材価格の高止まり、建築資材高騰等で住宅建築の価格上昇などがある中プレカット工場は稼働率の低下も見られ、円安の進行、燃料費高騰による運賃や電気代など周辺環境の悪化が懸念されることも加え、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

#### 福山木材協同組合

売上が増加し、材料不足の懸念も無くなった。しかし、着工数は減少しているため、先行きの不安感は続く。

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

感染対策は徹底しつつ、リアルでの動きを加速していくステージに入ってきたと感じる。お客様の困りごとを印刷で解決していく努力を続け精度を磨いていくのみだ。

## (化学・ゴム)

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はなし。受注にも影響を及ぼすほど、得意先からカーボンフリーの取組を求められている。

### ●プラスチック製品製造業

#### 広島県プラスチック工業会

- ・原材料の大幅な値上げが続き、製品価格への転嫁の難しさに苦慮している。
- ・円安傾向に益々拍車がかかっており、自国通貨の価値低下が懸念事項。柔軟性を失い、何年も前に打ち出したゼロ金利方針から離れられない日銀体質を危惧している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和4年7月 2,650 m<sup>3</sup> (暫定) (対前年比 92.6%)

令和4年6月 3,060 m<sup>3</sup>

令和3年7月 2,861 m<sup>3</sup>

・令和4年度想定数量 800,000 m<sup>3</sup>

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・主要取引先であるコベルコ建機(株)国内の操業状況は基本高位安定。協力会社はコベルコ建機ほぼ100%の取引なので、ここ数年フル操業が続いている。(前年比更に増の生産計画が続いている)
- ・コベルコ建機の操業は部品調達がタイトで生産未達が発生している。生産計画が日替わりで変動しているものの、納入部品の引き取りには大きな影響は出ていない。
- ・生産能力がほぼピークに達している中、受注は減ることが無く、残業時間の制限、慢性的人手不足で厳しい状況が続いている。

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

鋼材費及びその他輸入に依る商品(石油、石炭、天然ガス、希少金属)等の高騰が要因となり原価が上昇。各社共に価格への転嫁が遅れ気味である。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

出荷時期の変更や、スポット受注の発生などが要因となり、売上は前月比40%増加、前年同月比45%増加となった。また、工作機械の受注額には変化がなく、モーターをはじめとする部材の調達が長期化したまま改善の兆しはなし。

リョービ関連工業協同組合

新型コロナウイルス感染症が拡大しているが、現状、影響は受けていない。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比50%増加、前年同月比25%増加。現状の手持ち受注の水準から売上増加となっているが、部材の調達難や価格の高騰は依然続いている。また、中国上海市のロックダウンが長引いた影響で国内メーカーからの受注に陰りが見られる。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

今春のロックダウンの影響からはマツダの生産は回復したが、未だ半導体の供給不足の問題が残っている。7月からは部分的に残業・休出が実施され、正常な水準に戻りつつある。しかしながら、未だ半導体の供給能力不足は続いており、予断は許されない状況にある。新型の大型SUV CX60の受注は好調で今後の生産増に期待。

【7月度 自動車 国内販売動向】

全需は349千台、前年同月比▲7.4%と13ヶ月連続での前年割れ。(登録車は▲13.4%と11ヶ月連続で前年比減、軽自動車は+3.8%と14ヶ月振りに前年比増加へ転じた。)マツダ車は31.5%増と2ヶ月連続で増加。マツダ内訳としては、登録車+43.7%(12.5千台)、軽自動車▲11.1%(2.2千台)であった。

【6月度 自動車 海外販売動向】

アメリカの全需は1,147千台で、前年同月比▲11.8%と11ヶ月連続で減少。マツダは▲53.6%と、前年同月を3ヶ月連続で下回る結果となった。

欧州の全需は1,286千台で、前年同月比▲15.1%と12ヶ月連続で前年を下回る。マツダは▲50.1%と前年同月を5ヶ月連続で下回った。

中国の全需は2,077千台で、前年同月比+3.0%とまた5ヶ月振りに少し回復。マツダは同 ▲40.3%と15ヶ月連続で前年割れとなった。

引き続きコロナ影響で、マツダの6月の海外販売は、殆どの地域でマイナス。合計台数は60.7千台、前年同月比▲42.4% 11ヶ月連続で前年比減となった。

## 【6月度 輸出・国内生産動向】

マツダの6月度の輸出台数は、前年比▲8.4%と6ヶ月連続で減少。国内生産台数は、前年同月比+0.1%と引き続き半導体の供給不足の問題により、完全には復活出来ていないが、前年同期比レベルまで持ち直した。今後は新型車を含め回復方向に向かうと予想される。

### ●輸送用機械器具（造船）

#### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

#### 中国地区造船協議会

- ・県内、2500総トン以上の令和4年6月の船舶建造許可実績は2隻、114,250総トンであった。（前月3隻142,190総トン。前年同月2隻、131,000総トン。）
- ・我が国の造船業は、受注低迷が続き、一時は危機的な水準にまで落ち込み。昨年初めからの海運市況の回復から造船需要も回復傾向に転じ、手持工事量もある程度回復している。
- ・しかし、足元の状況は、鋼材などの資機材価格高騰、ウクライナ情勢によるサプライチェーンの混乱等で舶用品の納期遅れが深刻化する等、依然として厳しい状況が続いている。

#### （卸売業）

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

- ・足許、コロナ感染再拡大に伴う売上のマイナス影響はあまり見られない。好調に推移してきた巣籠もり、医薬関連需要は落ち着きを見せている。
- ・3月決算企業が多い中、取引金融機関との返済条件見直し、借換等資金繰りを再構築しているケースも増加している。

### ●卸売業（食料）

#### 広島県東部食糧協同組合

前月比・前年同月比共に売上高が増加している。

### ●卸売業（電設資材）

#### 広島県電設資材卸業協同組合

各メーカーより値上の通達が入ってきている。資材全体の平均が10%強アップしている状況。値上要因は、銅、鉄、アルミ、ステンレスの原材料の高騰。

### ●卸売業（家具）

#### リビズ株式会社

メーカーから値上げ要請あるなど、厳しい状況が続いている。

### ●卸売業（畳・敷物）

#### 広島県畳製品商業協同組合

びんご畳表では、7月はい草の収穫時期となり生産農家は多忙を極めた。また、業界全体の景況感はやや低調である。

#### （小売業）

### ●各種商品小売業

#### 広島生鮮三品連絡協議会

- ・春先からの物価高騰に、コロナ第7波の到来が重なり、青果・水産とも取扱高は前年実績をわずかに割り込んだ状況になっている。
- ・食料品小売業者は食品などの生活必需品やガソリンなどの値上げを受けた消費者の節約指向の高まりから、売上高が前年実績に満たない状況が続いている。
- ・生鮮品卸業者は行動制限解除でレジャーや外食関連でのリベンジ消費が追い風となり回復傾向に転じたが、同業者間格差も生まれコロナ感染前の水準に戻っていない。
- ・大手量販店に比べ、食料品小売業者は消費意欲減退の懸念から店頭価格の引き上げに慎重になり食品値上げ分や経費を価格転嫁できず、実収入の減少で賃上げも難しく、慢性的な人手不足が続いている。

#### 協同組合三次ショッピングセンター

7月は大雨の影響によって客数が減少した。再び新型コロナウイルス感染者が急拡大し、対面販売を行う店舗への影響が心配される。また、物価上昇の影響は今のところなし。

### ●家庭用電気機械器具小売

#### 広島県電器商業組合

令和4年7月度販売実績 86%（前年同月比）

AV商品 76%、白物商品 91%、薄型テレビ 74%（内有機EL70%）、DVD 80%、冷蔵庫 97%、洗濯機 75%、IHク

ッキングヒーター112%、エコキュート 148%、エアコン 87%、炊飯器 77% 電子レンジ 84% 掃除機 172%  
依然慢性的品不足は続いている。傾向として国内家電メーカーは、商品且つ生産を絞り、縮小戦略を取り始めていると感じている。これにより、家電店は商品提案の幅が狭くなることが予測される。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

前半は順調に推移していたものの、後半は販売量が伸び悩んだ模様。新型コロナウイルス感染拡大が影響しているかもしれない。

（商店街）

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

2年間開催を取りやめてきた呉中央地区の土曜夜市が7月30日（土）に開催された。当日は、周辺の地区から多数の家族連れが訪れ大盛況であった。

（サービス業）

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比16.5%減少、前年比0.5%増加。
- ・車検場収入は、前月比15.4%減少、前年比15%増加。
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比7.6%減少、前年比3.5%減少。

#### ●広告業

##### 広島県広告美術協同組合連合会

前年同月比では特需があったため、売上高は減少しているが、前月比で見ると多少稼働してきている。前月に引き続き、社会情勢の悪化に伴い、様々な資材が値上げされ、受注減少が懸念される。加えて、閑散期である為、下降すると思われる。

#### ●情報サービス

##### 一般社団法人広島県情報産業協会

受注引き合いは好調であるが、電子部品に入手困難が継続中。しばらく継続する見込み。

#### ●警備業

##### 広島県警備業協同組合

業界全体を通じて人手不足が続いている。

（建設業）

#### ●工事業

##### 広島県室内装飾事業協同組合

新築物件の減少が要因となり、カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計では7月は前月比8.4%増加、前年同月比25.7%増加。前年累計比1.4%増加となったが、一昨年累計比42.7%減少、3年前の累計比36.1%減少と芳しくない。材料のみならず施工費、物流費の高騰で最前線の工事店は厳しい状況が続く。

##### 福山地区電気工事業協同組合

- ・7月分の受注件数は、338件（前年同月比109%）となった。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

##### 広島市指定上下水道工事業協同組合

工事受注件数が減少し、売上高が前月比・前年同月比共に減少している。

（運輸業）

#### ●道路貨物運送業

##### 広島東部トラック運送事業協同組合

- ・7月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加。
- ・自動車関連は、中国からの部品の購入が正常化してきたため、前月より好調であった。
- ・軽油価格は下降。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大（第7波）により、見通しの立たない状況が続くと考えられる。

##### 松永地区トラック事業協同組合

7月の売上高は前年同月比では減少、前月比では大きな変化なし。半導体不足や原油価格の高騰などにより輸出・輸入が元通り回復していないことが原因となり、関東、中部、関西方面からの返路貨物がまだ回復しておらず、7月も先月に続き荷動きが余り良くない。軽油価格は、依然として高止まりしており、運賃値上げや燃料サーチャージ制の導入も荷主の理解が得られず手の打ちようがないのが現実である。

#### ●水運業

##### 全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

（その他）

## ●不動産業

### 広島県不動産評価システム協同組合

- ・市町からの公的評価作業が減少しているが、コロナ禍での一般鑑定業務がやや増加している。
- ・流川・薬研堀歓楽街の飲食店業界は、蔓延防止解除後も客足はいま一つで依然厳しい業況が続いている。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、**完成工事の遅れが出ている。**